

かも博美後援会 会報誌 わかば

裾野市議会議員

かも ひろみ

賀茂 博美

No. 21

2014.12

発行: かも博美後援会
裾野市伊豆島田 230-4
TEL・FAX: 993-1876

HP : <http://www2.ocn.ne.jp/~kamo163/>ブログ: <http://yaplog.jp/kamohiromi/>

《 ご挨拶 》

早いもので今年もまもなく終わろうとしています。皆さんにとって2014年はどのような一年だったでしょうか？ 私は3度目の市議会議員選挙に挑戦させていただきましたが、改めて人の温かさや優しさ、ありがたさを感じさせていただいた一年でした。後援会長をはじめ、多くの皆さんのご支援に感謝するとともに、議員としての資質向上のために自己研鑽に心がけたいと思います。また、皆様からのご指導も宜しくお願いいたします。

議会改革特別委員会 委員長に選任！

平成26年(2014年)12月11日(木曜日)

責争

JPC

業行

星早

裾野市議会は10日、議員定数削減などを議論するための議会改革特別委員会の設置を決めた。同日の市議会12月定例会に設置に関する決議案を上げ、全会一致で可決した。議員定数削減の議論とともに、2012年に制定した議会基本条例を基に、開かれた議会の実現に向けた改革を進める狙い。全議員21人で構成し、議会活動の在り方や議会改革に関する規則の整備などをテーマに、閉会中も継続的に調査研究を行う。委員の互選で委員長に賀茂博美氏、副委員長に杉本和男氏を選んだ。

議会改革特別委を設置

裾野市議会 定数削減など議論

同市議会は10月に改選されたばかり。同市の区長連合会は今年3月、改選前の市議会に定数削減を求める要望書を提出している。二見栄一議長は「議員定数削減の議論が最重要課題になる。できるだけ早い時期に一定の結論を出したい」と述べた。

裾野市議会では、さらなる議会改革の必要性が論じられ、全議員が委員として議会改革特別委員会を設置することとなりました。この度、私は特別委員会の委員長に選任されましたが、議会改革を進めることが裾野市議会のみならず、裾野市の発展に繋がるものと考えていますので、これまで以上に積極的な取り組みを進めていきたいと思っています。



これまでの裾野市議会の動き

- 平成22年12月 議会改革等検討特別委員会の設置
- 平成23年10月 議長より市長へ 議会改革に係わる協議事項の要望を提出
- 平成24年 7月 議会基本条例(案)に対するパブリックコメントを実施
- 平成24年 9月 議会基本条例を全議員一致で可決
- 平成25年 3月 議会改革等検討特別委員会を解散
- 平成25年11月 第1回 議会報告会の開催
- 平成26年 5月 第2回 議会報告会・意見交換会の開催
- 平成26年10月 市議会議員選挙





公立幼稚園3歳児抽選問題の解決に向けて

これまで公立幼稚園の3歳児入園における抽選問題については何度も一般質問で取り上げておりますが、解決に至っていないのが現状です。今年度においては過去5年間で最高数の204人のお子さんが公立幼稚園の3歳児入園を望まれましたが、1次、2次、3次抽選会が実施され、多くの入園待機者がいる状況です。



裾野市では、人口増加策としての将来投資事業の実施により、子育て世帯の定住への効果も徐々に現れ、合計特殊出生率においては県内トップとなりました。さらに裾野市での子育てを望む世帯が増えて欲しいと望むところですが、現在の公立幼稚園の3歳児入園問題について、保護者からの不満の声をこれまで以上に多く伺っています。何としてもこの問題は解決しなければならない！強い思いを持って、一般質問に立たせていただきました。

【平成27年度 公立幼稚園3歳児 入園希望者（11/21現在）】

園名	いずみ	いずみ (再募集)	西	深良	富一	富二	須山	合計
定員	40	20	20	20	20	20	20	160
申込み者数	56		62	27	37	7	15	204
待機者数	10	8	12	4	11	2	-	40

Q. 西、富岡第一幼稚園の各施設内へ3歳児クラスを増設する必要があるのでは？

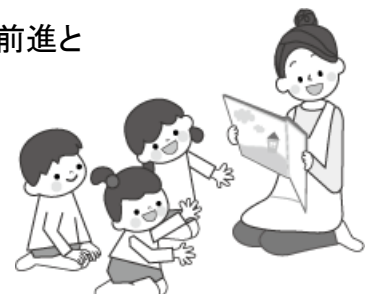
A. 財政や施設管理の負担が伴い、実現が厳しい状況にある。

今回の提案は、西幼稚園においては職員室を3歳児の保育室とし、職員室をプレハブ建設で対応してはどうか？また、富一幼稚園においては園庭に広さの余裕があるので増設が可能ではないか？というものでした。非常に後ろ向きな答弁でがっかりしたところですが、将来的な課題解決とともに、目の前にある課題の解決についても動き出さなければ本当に裾野市は良くなれないと感じました。今後も提案を続けていきたいと思います。

Q. 1学級の幼児数を3歳児定員は20人以下と定める幼稚園管理規則を見直し、定員を対応可能な25人以下まで拡大することは可能か？

A. 平成28年度より公立幼稚園3歳児クラスの定員を25名以内に拡大することを検討していく。

定員拡大に向けて検討していただけることは、この問題の解決に向けての前進と期待するところですが、待機者の多い、西・東地区においては、まだまだ受け入れ枠の不足が生じます。市長は私立幼稚園へ受け入れ枠の拡大を依頼したとの事ですが、保護者が望む幼児教育施設との意識の違いを感じました。



現在実施されている公立幼稚園 3 歳児抽選の対応策

その 1. いずみ幼稚園への再募集枠

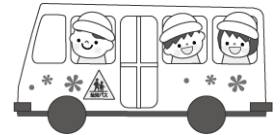
いずみ幼稚園の定員は40名ですが、1次抽選で希望の幼稚園へ入園できなかった方へ、定員20名の再募集枠を設けています。西・いずみ幼稚園の1次抽選にもれた方の多くが、この再募集枠での抽選会に申込みされています。

その 2. 私立幼稚園への誘導として、授業料を公立幼稚園と同額へ

私立幼稚園の授業料は16000円～17000円/月

公立幼稚園の授業料は6300円/月

※ 差額 16000円-6300円=9700円/月



この差額(16000円を基準)を裾野市が補助し、公立幼稚園と同額としています。
平成 26 年度当初予算で私立幼稚園授業料負担軽減補助金は、2118万円計上されており、私立幼稚園への誘導を促しています。



幼児施設基本構想の見直しについて

平成 25 年 3 月に策定された『裾野市幼児施設基本構想』では、幼児施設の“こども園化”“民営化”を基本とした構想となっておりますが、西幼稚園・西保育園の統合の方針について、また、事業所内施設の活用等も考慮する必要があると思われます。

平成 26 年 12 月 6 日 静岡新聞

企業内保育施設の設置促進

支援制度を創設

裾野市長方針

裾野市の高村謙二市の保育施設を充実させ、市内企業に勤務する従業員の子どもの保育の受け皿を増やすことを、市全体としても支援制度の創設を目指す方針を示した。市議が、市議会の一般質問に答えた。

市内の保育園では年次当初の待機児童はいないものの、年度途中では2013年度、0歳児で最大7人の待機児童が出た。中心部の公立幼稚園では3歳児の入園待機が問題になっている。

高村寿彦教育部長は「限られた財源の中で、多方面にわたって対応して、」と述べた。

で子育て環境の可能性を研究し、保育施設の掘り起こしをしていきたい」と述べた。

国の助成を受けた事業所内保育施設を対象に独自の乗せ制度を設けている富士市の例などを参考に、新年度の支援制度創設を目指す方針。

Q. 西幼稚園・西保育園の一体化についての方向性をどのように考えているのか？

A. これまで通り実施に向けて進める。西の施設は幼保ともに老朽化している。施設用地も確保できることから、優先的に検討する。

西の幼保一体化、こども園化については賛否両論ありますが、今後の予定として、民営化移行の準備に1年、民間事業者による建設整備に2～3年は要するものと考え、開園までは3～4年程度かかるものと思われるとのことです。



Q. 市内における保育施設の受け皿の拡大、乳幼児期の子供への負担軽減、保護者と共に過ごす時間の確保等を考慮し、事業所内の保育施設整備への支援制度を検討しては？

A. 鋭意情報収集に努め、積極的に取組を進めていきたい。

現在の社会においては、働きやすく、子育てしやすい環境を整えることが、まちの発展にも繋がるものと思います。

多くの事業所に活用されやすい補助制度が創設されるように注視していきたいと思っています。

ひとりの裾野市民として・議員としての活動

公益社団法人 裾野青年会議所の卒業！

2010年に入会した裾野青年会議所(裾野 JC)を2014年12月31日に卒業することとなりました。青年会議所は『明るい豊かな社会』を構築するための社会活動を主とした、20歳～40歳の青年で構成される世界最大の青年団体です。

これまで、裾野 JC では多くの事業に係らせていただきました。

『沖縄・福島・裾野の子供達との富士登山』、『富士山国際雪合戦』、『すその夏祭り実行委員会』、『富士山一周駅伝の開催に向けて』、『若者達による政策討論会』、『公開討論会』、『献血事業』...

中でも一番印象に残っているのは、今年の夏に開催した青少年育成事業の『裾キッズ「逃走中」～この夏君は一回り大きくなる～』です。担当として思考錯誤した事業でしたが、苦労があった分事業の達成感も大きく、自分自身の成長に繋がったものと思っています。さらに、裾野 JC ではかけがえの無い仲間との繋がりが持てたことは私にとっての財産です。

ここで卒業となりますが、今後の裾野 JC の活躍に期待していきたいと思っています。



裾キッズ「逃走中」
～この夏君は一回り大きくなる～



すその夏祭り設営



富士山国際雪合戦の開催



公開討論会の開催

2015年の目標

2014年も駆け抜けた一年間でしたが、振り返れば多くの人が自分を支えてくれたものと感謝しています。来年も『感謝』の気持ちを忘れず、人との繋がりを大切にしていきたいと思っています。

そして、家庭では長男が来春には中学生となります。親として子供達としっかり向き合い、子供の成長を見守るとともに、子供との時間を大切に出来るように、時間の使い方、作り方を考えていきたいと思っています。

皆様におかれましてもご自愛いただき、良い年が訪れますよう祈念いたしております。

来年もどうぞ宜しくお願いいたします。

裾野市議会議員

賀茂 博美

